

星まつり
祈願始め



発行所
〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地
石鎚神社・石鎚本教
電話 (0897) 55-4044
11・12月号



本社境内 灯籠奉納(大阪教会70周年記念)

道

午前六時、払暁御本殿から
大太鼓の音(ね)が響き渡りま
す。宿直の神職が、大神様に日
供祭をご奉仕しているのです。
朝焼けの雲、朝の虫の声、
神々の杜の目覚めのひと時。
同時に神職の仕事の有様を感じ
るひと時。日本中に朝が来
ます。今日も又、生まれ変わ
り、新しい一日が始まります。

毎日私たちも生まれ変わ
ります。今日も心新たに頑張
りましょう。一朝、一日、一月、
この年を。そしてあと僅かで
年の瀬です。

今年良い年であった方は来
年もまた良い年であるように。
今年厳しかった方は、来年こ
そはの思いを込めて、一年の
結びを行いましょう。

そして今、公(おおよけ)の
祈りの時。我が家と同じく隣
の家の、我が国と同じく周囲
の国の、健康と安全をお互い
に祈りましょう。

お互いに来年こそは、の思
いを込めて。

武智。

石鎚本教秋季例大祭 併 疫病鎮静祈願祭 並 臨時大祓式 厳肅裡に斎行

去る十月五日(火)、石鎚神社口之宮本社御本殿におきまして石鎚本教秋季例大祭が厳肅裡に斎行されました。



当日は、素晴らしい晴天を頂く中に、全国各地より約百名の信徒の皆様にご参列頂き、午前十時より祭典を斎行。



開式太鼓の後、神御衣の献上撤下が奉られ、武智宮司、平岡筆頭常務総代が神恩感謝、感染症の鎮静化と国家の安泰、世界の平和を祈る祝詞、祈願詞を奏上の後、宮司先導のもと祭員、参列者と共に大祓詞を斉唱。



今年の秋季例大祭においても新型コロナウイルス感染症の影響により、神輿渡御、御旅所祭をはじめ、餅投げ、お茶席、直会等の神賑行事並びに催事を休止し、ご参列の皆様のご健康と安全確保のため殿内の換気、消毒液、検温器を設置し、感染予防を徹底する中での祭典となりました。



続いて巫女の浦安の舞を奉納、宮司、参列者が玉串を奉り拝礼、今日の日をお祝い申し上げると共に、それぞれの願事を祈願して厳肅に祭典を終了致しました。





続いて、神御衣が
愛媛県 宇和教会
山口県 下関教会
大分県 別府神仰会遙拝所
へ、それぞれ下付。
今回の神御衣は
大阪府 矢野 棟子
京都府 山崎 真紀 元老
新居浜市 大西 彌太郎 元老
のお三方よりご奉納頂きました。
その後辞令伝達(詳細別ページにて
記載)大阪教会、湊 喜美子教会
長へ大阪教会七十周年記念事業
の祖霊殿向拝床改修又、境内灯籠
のご奉納への感謝状が大麻・星祭



のお世話を一定以上ご奉仕下さっ
たお世話人への感謝状が贈呈さ
れました。祝電披露の後、例大
祭に引続き、本殿前にて臨時大
祓式を斎行しました。権宮司先
導のもと大祓詞を斉唱、配られ
た切麻、人形(ひとがた)にて
自分自身を祓い、全国各地より
お送り頂きました約千八百体の
人形とともに、浄化の火により
御焚上げされました。



コロナ禍の中、祭典が無事斎行
出来ましたことに感謝申し上げます
と共に、ご参列頂きました皆
様、人形をお送り頂きました皆
様方のご健康とご多幸と、感染
症の一日も早い鎮静化をご祈念
致しまして、秋季例大祭のご報
告とさせていただきます。

記 権禰宜 曾我部洋輔



十月六日 祖霊殿 秋季例大祭・合祀祭斎行

境内にある祖霊殿。石鎚

山開山の祖・役小角をはじめ社司・宮司、霊峰石鎚の為にお力添えを戴きました先達・教師・特別崇敬者にて帰天されました方々をお祀りしており、毎年四月・十月の六日、午前十時より例大祭並びに合祀祭を斎行しています。

当日は素晴らしい秋晴れの中、関係御遺族様・神社役員のご参列を戴き斎行されました。

合祀されました御霊の在りし日の面影を偲び、思い出の数々を顧みる中に、凜としたお姿、また皆を導く大きな背中、優しいお顔を思い出しながら御霊安かれと祈念致しました。先達・教師の皆様が、築かれられた篤志を、また優しき御心を継がれ、よりよき信徒となられる事をお願い致します。

この度合祀されました新祭神をご紹介申し上げますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

御案内

※今般合祀・またすでに合祀しています御遺族様には該当の命日月(毎月十五日、月次祭終了後・案内は月を先取りしています)に御案内差し上げています。住所変更あります方はご一報願います。

※祖霊殿春・秋例大祭のご案内は新祭神(合祀該当者)と過去三年以内に合祀されました御遺族の方へ案内を差し上げております。以外の御遺族様には特別にご案内をしておりますませんが、是非とも御参列戴き、御霊和めの祭典を共に御奉仕したいと思えます。

春秋大祭・命日祭への数多くの御参列をお待ちしております。

●先達会符の名義変更などお済みでない御遺族様、またご不明な点等ございましたら遠慮無く神社までご連絡下さい。

令和三年十月六日 祖霊殿 合祀祭神

最高功労章 金笏

元老大顧問

高橋 公男 大人命

功労章銀笏

元老大顧問

権大教正 藤本 守 大人命

有功神鏡笏

元老大顧問

中講義 西森 精市 大人命

有功神鏡笏

元老大顧問

福中 照勝 大人命

元老大顧問
大教正

有田 繁子 刀自命

元老大顧問
大講義

乙井 佐一 大人命

元老

山中 トクヨ刀自命

特別大監長

渡辺 みゆき刀自命

副大取締

池田 雅行 大人命

副取締

村上 宣史 大人命

(順不同)



御羽車にて御霊代を奉遷

辞令発令

石鎚本教

功労章拝受

(令和三年十月五日発令)

最高功労章金笏

元老大顧問

大教正

石鎚本教教会聯合会会長

福岡神和教会 教会長

佐伯 良子



石鎚本教の教師十六階級の最高位、大教正にして、更に功労顕著な方に発令されます。福岡神和教会を遥拝所より立ち上げ、教会へ昇進、更に法人格も取得されました。同時に、三十六王子の行道を始め、大麻神札、星祭、新春祈禱、春秋

大祭、奉賛会活動、また、本教理事、教会聯合会会長を歴任、そして御山開大祭のご参拝を多くの方に広め伝え、御神威の発揚に努められ続けています。石鎚本教最高位の功労章です。

石鎚本教 理事

責任役員就任

(令和三年十月五日就任)

有功神鏡笏 元老大顧問

権大教正

山口県・防府教会 教会長

山中 將史



石鎚神社を本宗とし古からの石鎚信仰の神仏混交の姿である、石鎚本教の理事、責任役員に就任されました。

石鎚本教

教会聯合会

役員改選

(令和三年十月四日就任)

会長

佐伯 良子 大教正



副会長

湊 喜美子 少教正

江藤 秀人 権大教正

深川 健二 権大教正

名誉顧問

松岡 功 権大教正

浦松 大八 大教正

川西 久美 大教正

中西 幸男 大教正

吉田 宏

田辺 紀江 大教正

顧問

平岡 明 少教正

湊 照彦 中教正

岡村 信一 権中教正

伊藤 光貞

沖野 和義 中教正

田窪 一善 権大教正

理事

安岡桂一郎 大教正

越智 汀祐 中教正

勝本 房利 少教正

金重 和枝 大教正

筒井 道晴 少教正

監事

秋山 一幸 訓導

入江 伸明 権大講義

(順不同・敬称略)

石鎚本教教会聯合会は、全国の約八十力所の教会の長の方々、教師にして教正級の方々の、石鎚本教の幹部の方々の親睦の組織。石鎚本教の秋の例大祭は、教会聯合会主催とも申せません。今年は四年に一度の改選の年であります。

石鎚本教

準二等教会昇格

評議員就任

(令和三年十月五日昇格)

有功神鏡笏 元老大顧問
権大教正

広島県・蔵王教会 教会長

深川 健二



中予崇敬組合 役員改選

組合長・教区長

山本真理子 特選部長



副組合長

麦田和徳 元老顧問
柳川典子 監長

会計 麦田和徳 元老顧問

監査 宮田尚樹 元老顧問

幹事 定井暢男 特選部長

顧問 西原和男 銀笏

任期 令和三年十月一日〜
令和七年九月三十日

中予教会 役員改選

教会長

山本真理子 権少教正

副会長 宮本泰子 大訓導

会計 宮本泰子 大訓導

監査 白石琢哉 権大訓導

幹事 武智保則 訓導

顧問 西原和男 少教正

任期 令和三年十月一日〜
令和七年九月三十日

感謝状

大阪教会

教会長 有功神鏡笏
湊 喜美子 元老大顧問
少教正



大阪教会が来春に迎える創立七十周年の奉祝事業として、
・本社の祖霊殿向拝床改修、
・境内灯籠十四基、を奉納された事により感謝状が贈呈された。
(工事詳細は次号に掲載予定。)

堀江遙拝所 役員改選

所長 高野 武士



愛媛県 中予崇敬組合管内の
遙拝所長に就任されます。
副所長 松田和彦 取締

乙井正男 副大監長

会計 乙井正男 副大監長

総代 向田将央 副監長

山本喜代子

任期 令和三年十月一日〜
令和七年九月三十日

記・権宮司 十亀 博行

岡山県笠岡遙拝所 遙拝所長 就任

八月一日、岡山県笠岡市の笠岡遙拝所の遙拝所長が就任されましたので、ここにご報告させていただきます。

遙拝所長

藤井佑朔(ユウサク) 大取締



連絡先

〒七四一〇〇八一

岡山県笠岡市笠岡三八二九一
TEL 〇八六五 一六三一〇六二一

記 権欄宜 曾我部洋輔

お初穂奉納者

十月五日

石鎚本教秋季例大祭併
疫病鎮静祈願お火焚き祭五万円以上ご奉納いただき
ました皆様

《本社》

◎六拾万円以上

福岡神和教会

佐伯 良子

◎四拾万円以上

大阪教会

湊 喜美子

◎貳拾万円以上

導不動産遙拝所

岩崎 光照

◎壹拾万円以上

大分石鎚教会

江藤 秀人

睦美教会

田窪 一善

香春教会

川津 守秀

吉見教会

加藤 法泰

◎壹拾万円以上

讃岐神大遙拝所

大高 久呼

大分石鎚教会勝山遙拝所

白石 順子

別府神仰会遙拝所

浦松 大八

(株)浦松建設

浦松 大八

霊威教会

中西 幸男

大分市

中西 幸男

葉山教会

岡村 信一

東雲講社

黒田 明子

香川県 有限会社はる希

◎五万円以上

吉田教会

越智 汀祐

和食教会

安岡桂一郎

穂波教会

越智 節子

神明遙拝所

大西サカエ

石鎚登山ロープウェイ(株)

伊藤 和豊

赤坂教会

木村 稔

鐘ヶ淵教会

山田 春治

別府市

浦松 傳

西条市

十亀 興美

美馬市

平岡 明

市原市

松浦 節子

(順不同・敬称略)

五万円以上のお初穂奉納者につきましては、本社手水舎前に掲載させていただいております。

令和三年八月一日から

九月末日まで

五万円以上ご奉納頂きました皆様

《成就社》

◎五万円以上

(有)キユウエイ仁田峠満・久江

《本社》

◎壹百万円以上

丹下 裕

◎五拾万円以上

(株)浦松建設

浦松 大八

◎貳拾万円以上

(株)大 屋

伊藤慎太郎

◎壹拾万円以上

秋月 亨太

(順不同・敬称略)

また、本社での五万円以上のお初穂奉納者につきましては、本社本殿前掲示板に掲載させていただいております。

頂上社護持奉賛会

寄付者 芳名簿

令和三年八月一日

令和三年九月末日まで

※五万円以上奉納者

◆西条周桑崇敬組合◆

壹拾万円以上 松本 幸子

松本 至弘

(敬称略)

奉賛会は今後も継続しておりますので、ご協力をお願いいたします。

御 奉 納

令和三年八月二十八日

『大幟旗』御奉納者

四国中央市

井上 貫太・佳菜子

(敬称略)

真心のご浄財、ご奉納を賜りました皆様には、ご奉賛心より厚くお礼を申し上げます。

文責 権禰宜 大岡



令和三年九月十五日 長寿祭斎行

朝夕に秋の訪れを感じる九月十五日午前十時斎行の月次祭に併せ、数え年八十歳を迎えられた神社先達・本教教師・敬神婦人会の皆様を祝う長寿祭が斎行されました。

当日は十四名の該当があり、感謝状・ハンテン、敬神婦人会より風呂敷とバッグが贈られました。

八十歳・傘寿を迎えられた皆様方には、石鎚信仰をする中で多くのお陰と喜びがあったと思います。今後も大神様のお導きを戴かれ、ご健康でご多幸でありますことをお祈り申し上げ、お名前をご紹介します報告とさせていただきます。

長寿祭御芳名

(敬称略)

特別大監長

岩田 安夫

副大監長

叶 一美

大取締

山口 竹子

副取締

宮本 安代
山下 光子

敬神婦人会
橋支部

足摺岬支部

佐伯 良子
村上 伊勢子
日野 仲子
金子 勝枝
中村 勝子
浜口 もとみ

西宇和支部

岡田 節子
山田 美知子



音霊の祈り

(令和三年) 第四十三回
石鎚流 太鼓打ち方講習会

十一月二十七日(土)・

二十八日(日)

「太鼓は音霊であり言霊」

各祭典での石鎚流開式太鼓、御神像拝戴太鼓、閉式太鼓、祈りの波動を湧き上がらせる、石鎚流太鼓を学んでみませんか？これまで受講経験のない方でも大丈夫です。志ある方のお申し込みをお待ちしております。また、実際に祭典にて太鼓を打たれている方も、より一層の技術向上を目指しましょう。左記日時にて執り行いますので、数多くのご参加をお待ちしております。

記

日時

十一月二十七日(土)

午前八時 受付

十一月二十八日(日)

正午 解散

駐車場

社務所直下の第1駐車場右手の坂を登った青色の建物周辺へ駐車下さい。

持参品

白衣・白袴・足袋・笄・筆記用具・洗面具・着替え等

参加資格 先達会符取得者

受講料 一万円

申込締切 十一月十五日

宿泊場所

神社会館二階

一室二名にて使用(男女別)

◎開閉式太鼓・御開帳太鼓

(御開帳太鼓は開閉式太鼓を三回以上受講した人が対象)

◎二日目には太鼓打ち上げ奉納を祖霊殿にて行います。

◎各教会・逢拝所・崇敬組合を通じてお申し込み下さい。

○開閉式太鼓とは…

祭典の最初と最後に打つ太鼓

御開帳太鼓とは…

石鎚神社特殊神事である御神像

拝戴時に打つ太鼓

※定員二十四名

※尚、現在のコロナ禍を鑑み、参加者を二十四名とさせていただきます。

※十一月の開催月を踏まえ定員を増減する予定です。ご希望の方は早めにお申し込み下さい。

また、コロナ禍の様子により講習会変更もございますので、お含み置きお願い致します。

東予崇敬組合協議員会 開催

日時 令和三年九月五日

午前十時半より

場所 石鎚神社会館一階

本社参席 武智宮司

平岡明常務総代

曾我部英司禰宜

曾我部洋輔権禰宜

組合参席 河端組合長

役員五名

河端組合長

元老大顧問

権大講義



右記日程にて東予崇敬組合の協議員会が組合長を含め役員六名の参加にて開催されました。

当日は新型感染症対策で三密を避ける為、出席者はマスク着用、席は二メートル以上離れ、窓を開けての会議となりました。

会議は、組合長挨拶、本社挨拶、本社役員挨拶の後、議事へ進み、収支決算を河端組合長が報告、今年度の夏山開きの報告を神社より説明、組合大祭は五年ごとの周年祭のみ教会遙拝所にて行うことと、予算案、役員改選のことを組合長より説明、河端組合長の続投が決まりました。長年御神像奉仕を努めて頂いております徳島支部へ組合長より感謝のビールが贈呈され、平岡



常務総代が支部長の代理として受け取られました。

本社より土小屋奉賛の現状を報告、御奉賛のお願いをして議事は終了、参加者一同で感染症の鎮静化を祈り大祓詞を奏上して協議員会は閉会。

本来でしたら引き続き直会の予定ですが、参加者に弁当を渡し、解散となりました。

河端組合長の続投が決まりました東予崇敬組合が、今後益々御発展することを御祈念し、ご報告とさせて頂きます。感染症拡大で移動にはリスクが伴う中、役員の皆様御参集頂きお疲れ様でした。

通常の会議とは雰囲気異なりますが、参加人数も限られた中で開催となりましたが、役員改選等の議事もあり、重要な会議でありました。

今会議にて決まりました役員をご報告させていただきます。

組合長

河端 光則
元老大顧問

権大講義

副組合長

大高 久呼
功労章銀笏

元老大顧問

権中教正

副組合長

藤本 敏男
名誉部長 少教正

副組合長

黒瀬 貴久
元老 少教正

副組合長

金平 敏孝
特選部長 中講義

(順不同・敬称略)

記 権禰宜 曾我部洋輔



中宮 土小屋遙拝殿 御鎮座五十周年奉祝 改修工事奉賛会



銅板御屋根の葺き替え

現在の御屋根は三十年来の風雨雪により、傷みが激しく雨漏りをしています。

新たに銅板にて御屋根を葺き替え、石鎚大神様が御鎮座されるにふさわしい御社殿になる様、計画致しました。

木部外壁部の張替・防水対策工事

御本殿外壁の木部は、長年の風雨雪や直射日光により木が割れ、横からの漏水が激しくなりました。

石鎚大神様の御鎮座される御社殿としてふさわしく、木部外壁の張替工事、防水対策工事も計画致しました。

周辺整備

御本殿のコンクリートの外回廊も前回の防水工事より年数を経て機能が低下してきました。

正面階段中央のモミの木が成長し、石畳が浮き上がり参拝者が躓く事も予想されます。

これからの維持管理の為、外回廊の防水工事・石畳の一部改修・また殿内の畳の取り替え等を計画致しました。

改修工事費

- ①銅板御屋根の葺き替え 五、二〇〇万円
- ②木材外壁部の張り替え・防水対策工事 一、八〇〇万円
- ③周辺整備 五〇〇万円

合計 七、五〇〇万円

奉祝費

- 一、奉祝大祭、奉祝式典、殿内掲額 一、〇〇〇万円
- 事務費、予備費

計 八、五〇〇万円



ご奉賛者 対応 ・「ご芳名」は土小屋遥拝殿内に永久保存されます。

奉 賛 金 額	ご芳名	銅板記名	御神札	記念品	感謝状	掲 額	ご案内
2,000円未満	○						
2,000円以上	○	○					
1万円以上	○	○	○				
5万円以上	○	○	○	○			
10万円以上	○	○	○	○	○	○	○
20万円以上	○	○	○	○	○	○	○
30万円以上	○	○	○	○	○	○	○
50万円以上	○	○	○	○	○	○	○
100万円以上	○	○	○	○	○	○	○

星祭り祈願のぐ案内

令和三年十二月二十二日(冬至)

星祭祈願始め祭 午後四時より

令和四年二月三日(節分の日)

星祭祈願納め祭 午前十一時より

星祭りとは、年の変わり目に

各人の持つ「生まれ星」を祭り、

悪い年は災難を免れるように、

良い年は一層良くなるようにと

一年間の幸福と除災の祈願を石

鎚大神の御神徳をいただいて、

本年以上に幸多き年となります

ことを祈願するものであります。

祈願札一体一体に、ご氏名を

記入奉製し、冬至の日の夕刻よ

り節分の日まで、神職が朝夕に

清祓・ご祈願いたします。

満願の日である節分の日には、

本社にて古神札神納浄火祭

に次いで節分祭・星祭祈願納め

祭が斎行されます。

たくさんの方々のお申し込み

と祭典の参列を心よりお待ちしております。

上げます。

星祭祈願申し込み要項

*お申し込みは、所属組合長・

教会長・通拝所長を始め、先

達教師の各位並びにお世話

これまでご奉仕の各位を通じ

てお申し込みください。

心当たりが無い方は、本社星

祭り係までご連絡ください。

*祈願札は、節分の後にお世

話人様に発送し、皆様方には

お世話人様よりお受け取り

いただきます。

※初穂料

一件、三百円
外、五百円

千円

二千円

三千円以上

等の初穂料

それぞれの初穂料に応じた特別の神札を奉製し祈願いたします。

お願い

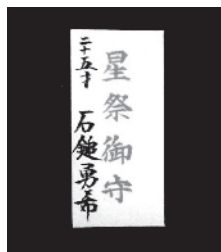
お申し込み各位には、楷書

にて文字をはつきり丁寧に

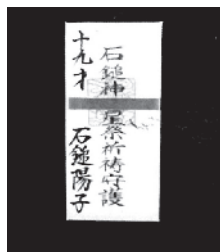
ご記入ください。これを以

て神札に記入しますので、

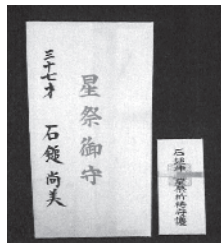
宜しく願います。



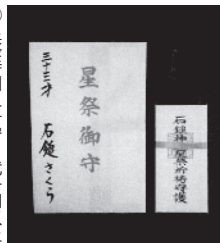
6.5cm×3cm



6cm×3cm



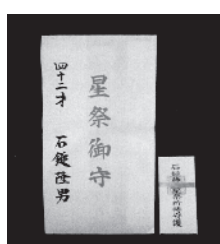
13.5cm×7.5cm



9.5cm×6cm



高さ37cm



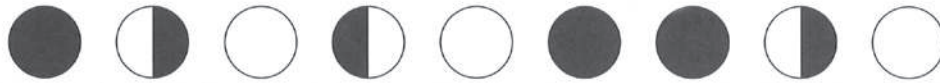
16cm×9cm

また本年も帳面表紙に「お世話人補佐」の欄を設けております。これにはお世話人のお手伝いをしていただいておられます方の氏名・連絡先をご記入ください。これは、お名前など記入不足があった場合、確認等を取らせていただきます。なにとぞご協力をお願いします。

また三千円未満でお申し込み頂きました方には、送料百円を別途お供え頂いております。

その他、ご質問や不明な点お問い合わせがありましたら、本社星祭り係までお尋ねください。

記 権禰宜 山崎 以上



令和四年各人数え年・生年・干支・九星・納音早見表

〔注 意〕

各人の満年齢は、左記の数え年から、各人本人の誕生日前には二歳、誕生日以降には一歳を引ければ得られる。
アラビア数字は、ことしの誕生日以降の満年齢である。子・辰・申の年は閏年となる。

土星黄	金星白	金星赤	土星白	火星紫	水星白	土星黒	木星碧	木星緑
壬申 九十一歳 90 剡鋒金	辛未 九十二歳 91 路傍土	庚午 九十三歳 92 路傍土	己巳 九十四歳 93 大林木	戊辰 九十五歳 94 大林木	丁卯 九十六歳 95 炉中火	丙寅 九十七歳 96 炉中火	乙丑 九十八歳 97 海中金	甲子 九十九歳 98 海中金
辛巳 八十二歳 81 白鐵金	庚辰 八十三歳 82 白鐵金	己卯 八十四歳 83 城頭土	戊寅 八十五歳 84 城頭土	丁丑 八十六歳 85 潤下水	丙子 八十七歳 86 潤下水	乙亥 八十八歳 87 山頭火	甲戌 八十九歳 88 山頭火	癸酉 九十歳 89 剡鋒金
庚寅 七十三歳 72 松柏木	己丑 七十四歳 73 霹靂火	戊子 七十五歳 74 霹靂火	丁亥 七十六歳 75 屋上土	丙戌 七十七歳 76 屋上土	乙酉 七十八歳 77 泉中水	甲申 七十九歳 78 泉中水	癸未 八十歳 79 楊柳木	壬午 八十一歳 80 楊柳木
己亥 六十四歳 63 平地木	戊戌 六十五歳 64 平地木	丁酉 六十六歳 65 山下火	丙申 六十七歳 66 山下火	乙未 六十八歳 67 沙中金	甲午 六十九歳 68 沙中金	癸巳 七十歳 69 長流水	壬辰 七十一歳 70 長流水	辛卯 七十二歳 71 松柏木
戊申 五十五歳 54 大驛土	丁未 五十六歳 55 天河水	丙午 五十七歳 56 天河水	乙巳 五十八歳 57 覆燈火	甲辰 五十九歳 58 覆燈火	癸卯 六十歳 59 金箔金	壬寅 六十一歳 60 金箔金	辛丑 六十二歳 61 壁上土	庚子 六十三歳 62 壁上土
丁巳 四十六歳 45 沙中土	丙辰 四十七歳 46 沙中土	乙卯 四十八歳 47 大溪水	甲寅 四十九歳 48 大溪水	癸丑 五十歳 49 桑柘木	壬子 五十一歳 50 桑柘木	辛亥 五十二歳 51 釵釧金	庚戌 五十三歳 52 釵釧金	己酉 五十四歳 53 大驛土
丙寅 三十七歳 36 炉中火	乙丑 三十八歳 37 海中金	甲子 三十九歳 38 海中金	癸亥 四十歳 39 大海水	壬戌 四十一歳 40 大海水	辛酉 四十二歳 41 石榴木	庚申 四十三歳 42 石榴木	己未 四十四歳 43 天上火	戊午 四十五歳 44 天上火
乙亥 二十八歳 27 山頭火	甲戌 二十九歳 28 頭火	癸酉 三十歳 29 剡鋒金	壬申 三十一歳 30 剡鋒金	辛未 三十二歳 31 路傍土	庚午 三十三歳 32 路傍土	己巳 三十四歳 33 大林木	戊辰 三十五歳 34 大林木	丁卯 三十六歳 35 炉中火
甲申 十九歳 18 泉中水	癸巳 十歳 9 長流水	壬辰 十一歳 10 長流水	辛卯 十二歳 11 松柏木	庚寅 十三歳 12 松柏木	己丑 十四歳 13 霹靂火	戊子 十五歳 14 霹靂火	丁亥 十六歳 15 屋上土	丙戌 十七歳 16 屋上土
壬寅 一歳 0 金箔金	辛丑 二歳 1 壁上土	庚子 三歳 2 壁上土	己亥 四歳 3 平地木	戊戌 五歳 4 平地木	丁酉 六歳 5 山下火	丙申 七歳 6 山下火	乙未 八歳 7 沙中金	甲子 九歳 8 海中金

年末年始 祭典・行事 案内

『本 社』

『中宮成就社』

【十二月】

■一日(午前十時より)

月次祭 併せ 新穀感謝祭

師走入りの月次祭に併せ、この年の新穀をご神前にお供えし、稔りに感謝申し上げる祭典。

■十三日

正月事始め

すす払い・松迎え

■十五日(午前十時より)

月次祭・命日祭

令和三年最後の月次祭。また祖霊殿にて当月の命日祭を執り行います。

■二十二日(午後四時より)

星祭祈願始め祭

冬至であるこの日より、明年節分まで朝夕に祈願を行います。詳しくは十二ページをご覧ください。

■三十一日(午後五時)

大 祓 式

一年間、知らない間に犯した罪穢を祓い清める祭典。清々しい気持ちで新年に臨みましょう。

年 越 祭

(午後十一時四十五分)

除夜は年神様を迎えるために、心身を清め、一晩中起きているのが年越しの習い。一年間の感謝と来る年の幸せを祈りましょう。

【正月】

■元日(午前零時より)

元 旦 祭

一年の始まりです。初詣を行い、今年一年の無事と平安を神様に手を合わせましょう。

引き続きの神事

御神像拝戴神事

石鎚神社で行う全国唯一の特殊神事。

※祭典の後

招福獅子舞

(西田獅子舞保存会)

縁起行事のご奉納予定

ご本殿にて

新春特別祈祷

境内にて

招福縁起物の頒布

石鎚神社青年部を中心にご奉仕いただく若人等がご本殿授与所にてお待ち致しております。

正月元日(午前五時より)

元 旦 祭

一年の始まりを成就社にて。雪化粧をまとった霊峰石鎚山に初日の出を見て、いのちの輝きを感じましょう。

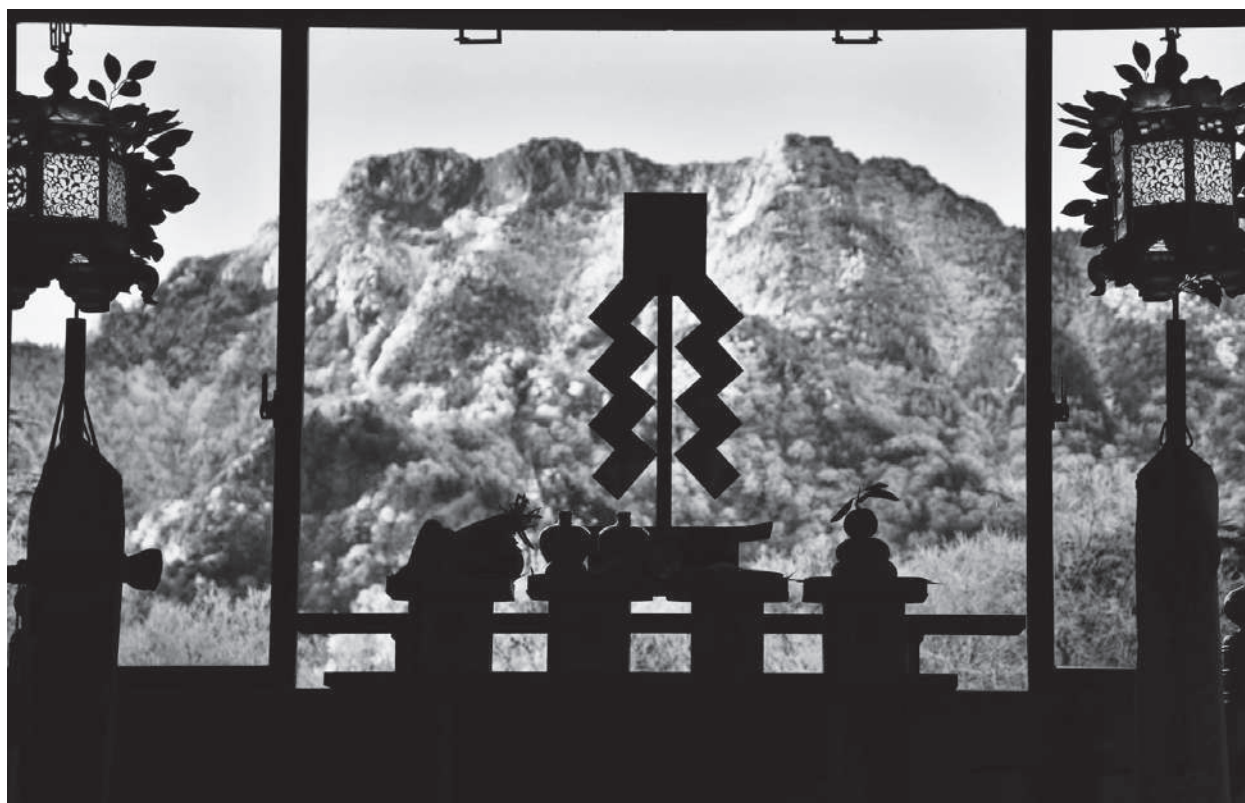
※祭儀の後

御神像拝戴神事

新春特別祈願のご奉仕 新春招福縁起物頒布

※例年通り成就社初詣参拝者に石鎚神社より、先着五〇〇名の皆様に参拝記念品を贈呈します。

※コロナ禍の影響で、予定を変更する場合もあります。



【 せとうちバス 】 【 石鎚登山ロープウェイ 】

伊予西条駅⇄西之川

運行時刻表

※2021/10/1 現在

路線バス：せとうちバス

西条駅(発)	ロープウェイ前着	ロープウェイ前発	西条駅(着)
7:47	8:41	◎6:56	◎7:50
10:27	11:21	9:12	10:06
13:37	14:31	12:02	12:56
16:23	17:17	15:17	16:11
		17:23	18:17

◎日曜日、祝日運休

※停留所多数のため割愛

せとうちバス

周桑営業所 TEL(0898)72-2211
本 社 TEL(0898)23-3450

年末・年始の運行

12月31日(金) 午前8時40分～午後5時
元 日(土) 午前4時～午後5時
2 日(日) 午前8時40分～午後5時
3 日(月) 午前8時40分～午後5時
4 日(火) 午前8時40分～午後5時
(定期便20分毎 臨時便10分毎)

詳しくは各社へお問い合わせ下さい

ロープウェイ料金

大 人 2,000円
小 人 1,000円
30名以上 大人1,800円 小人900円
100名以上 大人1,600円 小人800円

一年中登山できる唯一の交通機関

石鎚登山ロープウェイ

西条市西之川 TEL 0897-59-0331
ロープ運行テレホンサービス 0897-59-0101

石鎚神社では、新春特別祈禱を、元旦より三日間、斎行致します。

私達は日頃より、天地自然の恵みの中で生かして戴いており、より豊かな意義のある生活を送っています。その中でもすれば、健康を害し、心の調和が乱れ、人間関係が円滑に行われず、日常生活に支障を生じる場合があります。

新しく年を迎えるに当たり災厄からのがれ、家内仲睦まじく健康に、諸願成就の御守護を願う特別祈禱を、御案内申し上げます。

石鎚神社
新春特別祈禱の御案内

正月一日～三日まで連日
申込みの方々を御祈禱！

三日間、本殿で御祈禱後、
新春特別祈禱神札を、送付致します。

尚、初穂料は左記の通りです。

特別祈禱初穂料

大木札	壹万円以上
小木札	五千円以上
舟中札	五千円以上

申込先

〒七九三―八五五五
愛媛県西条市西田甲七九七
石鎚神社 新春特別祈禱係

TEL 〇八九七―五五―四〇四四
FAX 五五―七二四二

下記申込用紙を御利用下さい。

〈キリトリ線〉

石鎚神社新春祈禱申込書

令和 年 月 日

祈願内容 <table><tr><td>○家内安全</td><td>○厄除延命</td><td>○当病平癒</td></tr><tr><td>○身体健康</td><td>○海上安全</td><td>○職場安全</td></tr><tr><td>○試験合格</td><td>○商業繁栄</td><td>○学業成就</td></tr><tr><td>○良縁成就</td><td>○交通安全</td><td>○心願成就</td></tr></table>	○家内安全	○厄除延命	○当病平癒	○身体健康	○海上安全	○職場安全	○試験合格	○商業繁栄	○学業成就	○良縁成就	○交通安全	○心願成就	祈願一件につき下記を参照に祈禱木札の番号を記入下さい。お札の大きさは15ページ参照下さい。 舟中札…① 小木札…② 大木札…③ 5,000円以上…①、② 10,000円以上…①、②、③
○家内安全	○厄除延命	○当病平癒											
○身体健康	○海上安全	○職場安全											
○試験合格	○商業繁栄	○学業成就											
○良縁成就	○交通安全	○心願成就											

発送先	氏名	住所
-----	----	----

〒 番号 No.

祈 禱 者 名 簿

初穂料合計一金 円也

(フリガナ) 氏 名	願意	初穂料	円	木札 番号
生年月日 大平昭令 年 月 日	住所 〒			
(フリガナ) 氏 名	願意	初穂料	円	木札 番号
生年月日 大平昭令 年 月 日	住所 〒			

◎送金方法 ①郵便振替 ②現金書留

新春特別祈禱 木札 昨年より変更しております

例年、年の始めに一年の安泰・それぞれの願いを祈禱いたします新春特別祈禱、その祈禱木札の寸法・形状を、ご案内いたします。

祈禱初穂料

① 舟中札 5,000円 ~

② 小木札 5,000円 ~

③ 大木札 10,000円 ~

3種類の祈禱木札よりお選びください。

新春特別祈禱用木札

① 舟中札



24×7×0.7 (cm)

② 小木札



42×10×1.3 (cm)

③ 大木札



60×13×1.5 (cm)

おかげ話 寄稿

岡山市
櫻井 温子

「理屈や言葉はいらない 一瞬にして神様は見せてくれる
それが神様の力だ ここに来ればそれが分かる」

二年ぶりに石鎚神社頂上社を目指して登っている。

抗癌剤治療を二年余り継続してきた。私の標準治療で使用できる次の新薬はもうない。「お山に登れるのもこれが最後かもしれない」と覚悟を決めていた。闘病で身体の衰えは思った以上に著しかった。薬の副作用である両足裏のしびれは半端ではない。一歩がなかなか進まない。頂上社へ辿り着くのに五時間を要した。通常のはかかってしまった。

ご内陣入りをし、今神様の前に私は立っている。再びここに来ることが出来た。歓喜に身体は大きく揺さぶられた。嗚咽と共に、ただただ涙が溢れ出るばかり、押さえる事など到底出来ない。脳内は感謝で満杯になり思考は無に等しい。ああ神様、声にならない声を叫びながらご神像に手をふれた。あれっ、両足裏のしびれが突然消えた。足のしびれがなくなっている。まさにこれがご神徳である。もう少し私に命をくださいと手を合わせた。神様は慈愛そのものだった。

石鎚神社 縁起物招福セット

※干支の置物は寅になります。



令和四年より六品セットとなります。

初穂料 ¥4,500円也(送料着払い) 数量限定:100セットです。

※お正月前(12月中旬頃)に、ご自宅へお届け致します。

◎セットのご説明(六品)

①福箕 ②御神酒 ③干支置物 ④御塩 ⑤石鎚神社カレンダー ⑥石鎚魔除け猿

①福箕(ふくみ)(天狗のお面)(寸法:14cm×17cm)

凡そ1300年前、役行者(えんのぎょうじゃ)に開山され日本七霊山の一つ・霊峰石鎚山には、石鎚山法起坊(いしづちざんほうきぼう)という大変お徳の高い天狗様が居られ、その有難い御蔭(おかげ)をお面と箕(み)で現しております。新年の招福・招運に毎年新しくお飾り下さい。

②御神酒(寸法:19cm×7cm)

金粉入りのお目出度い御神酒(おみき)です。
一年の契機、好(よ)き時(とき)にお召し上がり下さい。

③干支の置物(寸法:9cm×14cm)

年毎、新しき干支を陶器の置物にて作成しております。
一年間の慶賀としてお飾り下さい。

④御塩(みしお・280g)お供え、お清め、お食事等にご利用下さい。

⑤石鎚神社教化カレンダー(上下見開きA3サイズ)

⑥石鎚魔除け猿(寸法:約3cm×約2cm) ※一つ一つ手作りの為、猿の色柄・大きさは全て異なっております。

石鎚みやげの伝統であります「石鎚魔除け猿」は、江戸時代の頃よりお山へ登拝する方が身につけていました。
石鎚山に懸かる鎖へ一心に身をよじ登る姿を現しているとされ、さるは猿(申)=去るに通じ災難厄除などの意味もあります。

きりとり線

社務所窓口、 ホームページ等にて受付。

お申込先: 石鎚神社 担当: 権禰宜 山崎
〒793-8555
愛媛県西条市西田 797

TEL 0897-55-4044

FAX 0897-55-7242

<http://ishi@ishizuchisan.jp/>



招福セットお申し込み用紙 金4,500円也 合計 円(送料のみ着払いにてお送り致します。)

氏 名		お 電 話	()
注文個数		郵便番号	〒 -
	個	ご 住 所	

※招福セットと一緒に振込用紙をお送り致します。

石鎚神社教化カレンダー謹製 (100部限定)



上下見開き A3サイズの大きさです。

※カレンダーは見本です。



表紙 A4サイズ

社務所窓口、 ホームページ等にて受付。

お申込先：石鎚神社 担当：権禰宜 山崎

〒793-8555

愛媛県西条市西田 797

TEL 0897-55-4044

FAX 0897-55-7242

<http://ishi@ishizuchisan.jp/>



初穂料 ￥1,000 送料別途

送料の目安

1冊～4冊迄¥200、5冊～10冊迄¥300

～ ご案内 ～

カレンダーの各月の写真は、当社と深く御縁を頂いております写真愛好家の先生よりご提供を頂き、各月には『温故知新』と致しまして宮司管長を始め、石鎚敬神婦人会会長、先達の皆様方の神縁・人縁の言葉を掲載しております。日付には、旧暦と六曜を載せておりますのでご活用いただければ幸いです。数に限りがございます。ご利用の皆様はお早めにお声がけいただければ幸いです。

----- きりとり線 -----

教化カレンダーお申し込み用紙

金1,000円

合計

円(送料別)

氏 名		お 電 話	()
注文数	部	郵便番号	〒 -
		ご 住 所	

※教化カレンダーと一緒に振込用紙をお送り致します。

第七十二回

石鎚本教所属教師講習会

三月四日(金)～三月六日(日)

第七十二回を数えます石鎚本教所属教師講習会を令和四年三月四日から六日の日程にて開催致します。

前回に引き続き第一部を実施いたします。「先ずは、正坐が出来て足腰しつかりしている方を対象」。

主たる講義内容は「基礎作法と神前奉仕の心得、更に実践」です。また内容は、その都度熟達度を鑑みて進めさせて頂きます。尚、希望されます方は、申し込み用紙の第一部の欄にお間違えなきよう記入してください。

各組合・教会・遙拝所所属の将来を担う教師志願の皆様、今以上の研鑽をとこ考えの教師の皆様、志ある多数の皆様にご参加いただきますようご案内致します。

記

受講規定

一、先達であること
一、教会所属の方は教会長の承認・推薦、遙拝所所属の方は遙拝所長および教区長の両名の承認・推薦、無所属の方は教区長の承認・推薦のある者

※(特別な事情がある者は本社までお尋ねください)

一、禊行に参加の事
(行衣は各自持参)

一、終了奉告祭に祭員として奉仕の事(見学不可)

一、期間中の遅刻・早退・中座は認めません

日程

◎集合 三月四日午前七時
(三日の宿泊は無料)

◎駐車場

第一駐車場右手青い建物方へ
お願い致します。

◎受講料 三万円

(期間中の賄い等の費用)
著衣・教本・昇進料等は別途

◎持参品

筆記用具・白衣・襦袢・帯・白袴・白足袋・草履・笏・印鑑・教本(祭式大成・教師必携)・禊行用褌(男性)・禊行用行衣(女性用)・着替え・洗面用具・ねまき(白い物)

※尚、講習会前日の午後五時より翌日の正午迄、京都の装束竹重さんが、会館二階にて装束の販売を致しております。ご利用の方はお尋ねください。

申し込み期限

◎二月二十日(厳守)

《教師志願(初めての方)について》

①先達資格を有する事

②講習受講者である事

③教会所属の方は教会長の承認・推薦(署名・捺印)。遙拝所所属の方は遙拝所長および教区長(崇敬組合長)両名の

承認・推薦(署名・捺印)。無所属の方は教区長(崇敬組合長)承認・推薦(署名・捺印)のある者。※署名・捺印無き申請書類は受理出来ません。

④本社の奉仕要請に応じられる事
⑤住民票と本籍地発行の身分証明書を準備の事
⑥無所属(当社・当本教の教会・遙拝所に所属無し)の方は、教師資格修得後一年以内に当社・当本教の教会・遙拝所に所属することを必ず要する。

《教師昇進について》
①講習会を受講の事
②星祭り・大麻のお世話について願書に必ず記入の事
③教会・遙拝所への協力・奉仕のある者
④本社の要請に応じられる方
⑤右、規定に該当し、規約に定める年功に該当承認・推薦のある者
《祈祷免状について》

◎次のページをご参照ください。

※当社教会・遙拝所に所属の方のみ申請を受付致します。

※教師資格・祈祷免状取得者の中に、教師義務金の滞納、星祭り・大麻のお世話なき場合、規定年数を超えますと、教師資格・祈祷免状を取り消します。

※新型コロナウイルスの影響により、内容変更となる場合もございます。ご理解の程宜しくお願い致します。

ご不明な点、お問い合わせは、本社・山崎までお尋ね下さい。



石鎚本教所属教師講習会 祈祷免許の申請について

石鎚本教所属教師講習会並びに祈祷免許申請の案内状は崇敬組合長・各教会・遙拝所宛に、十二月末発送。

【祈祷免許申請資格】

※当社教会・遙拝所に所属の方のみ申請を受付致します。

- ①教師講習会五回以上受講、内、本社講習会を二回以上受講。
- ②過去三年間、毎年神社大麻十体以上・星祭り祈願三十体以上の奉仕実績。

(※教会・遙拝所所属後、無所属の者は、過去三年間、毎年神社大麻二十体以上・星祭り祈願八十体以上の奉仕実績を要す。)

- ③お山開き大祭に十名以上の先達奉仕のある者。
- ④教師階級は中講義以上。(中講義同時昇進申請可能)
- ⑤預かり賽銭のお世話人の実績。
- ⑥教会所属の者は教会長の・遙拝所所属の者は遙拝所長及び教区長の・無所属の者は教区長の承認、推薦のある者。
(特別な事情がある場合には、本社迄お問い合わせ下さい)
- ⑦将来、講社・遙拝所の組織結成に志せる者。

『祈祷免許申請申し込み期限』

令和四年一月二十五日

『審査概要』

- ①『教師講習会開催迄の事前課題』(未提出者は失格)

※事前課題用の奉書紙はご自身でご準備下さい。

- ②『祭式審査』

- ③『面接』

☆事前課題の内容については、申請後に詳細を通知。
☆指定された各種課題・期限を始め、本社の指示に延滞の場合、申請資格を失います。

☆審査の流れは、事情により若干の変更の可能性有り。

以上

第 72 回本教所属教師講習会 (令和四年)

講師紹介
石鎚神社宮司・石鎚本教管長 武智 正人 先生
石鎚神社権宮司・石鎚本教宗務局長 十亀 博行 先生
石鎚神社禰宜・石鎚本教宗務局次長 曾我部英司 先生
石鎚神社豊友会 諸 先生

	3月4日(金)	3月5日(土)	3月6日(日)	
5-	集 合・受 付			
6-		禊 行	禊 行	
7-				
8-		朝拝神事・記念撮影	朝拝神事(御神像拝戴)	
9-	開講奉告祭	清掃・朝食	清掃・朝食	
10-	開 講 式	行事作法	配列確認・配列・作法講習 (習礼9時～11時)	
11-	神社・本教の概要 十亀宗務局長 本教教師の心得 武智管長			
12-	作法講習(基礎作法)		昼 食	
13-	昼 食			
14-	作法講習 (基礎作法とその解説)	行事作法	終了奉告祭(全員奉仕)	
15-	行事作法		閉 講 式	
16-			解 散	
17-			※都合によりプログラム 変更場合があります。	
18-	※今回は、講習会終了後 の直会弁当 並び 宿泊はございません。			
19-		夕 食		夕 食
20-		行事作法		作法講習 (御神像拝戴)
21-		神道作法について	所役発表	
22-	夕 拝	夕 拝		
23-	入浴・就寝	入浴・就寝		

教区長(崇敬組合長)名一覧表

令和3年10月1日付

組 合 名	組合が包括する区域	組 合 長 名	住所・郵便番号・電話番号
東 予	愛媛県の新居浜市以東 香川県・徳島県・兵庫県以東	河 端 光 則	新居浜市中村松木1丁目10番46号 〒792-0041 TEL 090-1006-0158
西条周桑	愛媛県の 西条市	菅 忠 昭 (組合長代行)	西条市洲之内甲177-1 〒793-0053 TEL 0897-55-3815
今治越智	愛媛県の 今治市・越智郡	小 林 敏 朗	今治市玉川町小鴨部甲531-6 〒794-0112 TEL 0898-55-2725
中 予	愛媛県の 松山市・東温市	山本眞理子	東温市南方2124-38-305 〒791-0301 TEL 090-4505-7458
上 浮 穴	愛媛県の 上浮穴郡	坪 内 続	上浮穴郡久万高原町日野浦7030 〒791-1503 TEL 0892-56-0378
南 予	愛媛県の伊予市以西 南宇和郡まで	山 内 康 治	西予市宇和町卯之町4-410 〒797-0015 TEL 0894-62-5533
高 知	高知県全域	出 原 孝 文	香南市野市町西野370-3 〒781-5232 TEL 090-7144-8024
東洋大心	岡山県と 広島県東部の一部	平 松 史 朗	倉敷市笹沖179-3 〒710-0834 TEL 086-424-2380
備 後	広島県中部より東	木 村 稔	福山市引野町3丁目33-6-1 〒721-0942 TEL 0849-41-5087
安 芸	広島県中部より西	三 吉 真 司	大竹市玖波町203 〒739-0656 TEL 0827-57-5278
山 口	山口県・島根県・鳥取県	加 藤 法 泰	下関市吉見古宿町9-7 〒759-6521 TEL 083-286-5010
福 岡	佐賀県・長崎県・熊本県 鹿児島県・福岡県全域	梶 原 倫 子	北九州市門司区大里戸ノ上4-2-22 〒800-0024 TEL 093-372-1101
大 分	大分県・宮崎県	浦 松 傳	大分県別府市竹の内6組の1 〒874-0841 TEL 0977-22-9045

お知らせ

『石鎚神社 西海文庫』

石鎚信仰研究の第一人者である、西海賢二博士の収集された書籍・資料群のご奉納を以て、左記の目的にて文庫を設立することとなりました。

文庫開き

令和三年十一月十一日

午前十時～閲覧開始

目的

石鎚神社・石鎚本教の常任講師、西海賢二博士収集の石鎚信仰を始めとする資料書籍群を石鎚神社で保管し一部を展示、石鎚山始め山岳信仰、民俗学、歴史学資料として公共に供す。

生涯を、民俗学、山岳信仰、主に石鎚信仰の研究に捧げられている西海賢二博士の足跡を表す。

費用

石鎚信徒有志の用途指定寄付金を以て設立。

以後の維持費は石鎚神社にて支出。(文責 大岡権禰宜)

新入職員紹介

出仕 大川 託史 たくみ



十月一日より、讃岐神大遥拝所大高久呼先生ご紹介のもと、奉職させて頂く事になりました。大川託史と申します。

私の祖母が、讃岐神大の信者という事もあって、数年前に大高先生と出会った事を契機に、石鎚山石鎚神社に篤い信仰を抱くようになりました。

今回の奉職のご縁を戴くまでは、神職の仕事に携わった事は無く、高校卒業後、8年間は製造業をはじめ、接客や営業など、神職とは別の仕事をしてきました。

神職は一からになりますので、皆様方にご迷惑をかける事が多々あると思いますが、一歩ずつ精進し、人格を鍛え、強いリーダーシップを持って、参拝

者や石鎚神社に、自分らしい貢献ができるように努めて参ります。まだまだ未熟者ですが、皆様方、御指導御鞭撻の程、よろしく願います。

神社会館

山本 奈未子



この度、石鎚神社会館職員として働かせていただくことになりました山本奈未子と申します。

私は、以前から接客業が好きで、お客様には、親切丁寧を心がけ、これまで精進して参りました。

御参拝の皆様には、笑顔での接客を目指し、宿泊のお客様には旅の疲れを癒して頂ける御奉仕をさせて頂ければと思っています。

ご縁があり神聖な石鎚神社の会館で働かせて頂けるようになった事、とても嬉しく思っています。精一杯頑張りますので宜しくお願いします。

職員退職

権禰宜

湊 和樹

この度、私事で大変恐縮ですが、9月末をもちまして退職することとなりました。7年半という短い期間ではありましたが、皆様にはあたたかいご指導ご高配をいただき心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

巫女

山先 成実

この度、九月末日をもちまして退職とさせて頂いたこととなりました。

約二年という大変短い期間でしたが、お世話になりました皆様には深く感謝申しあげます。

ありがとうございました。

十一月三日の頂上社閉門に合わせ、
 本年の頂上山荘の営業も終了いたしました。
 ご利用いただきありがとうございました。

予約受付開始

1月20日 朝10時～

営業期間

5月1日～11月3日

(気象状況により変更する事が有ります。)

予約・問合せ



「石鎚神社頂上山荘」

☎080(1998)4591

雪解けを迎えて石鎚詣でが始まる。
 五月一日 奥宮頂上社の開門祭です。
 開門祭にご参列の方は、四月三十日の宿泊が
 出来ます。(有料・要予約)

料 金	1泊2食 大 人 9,000 円 小学生 5,500 円 消費税込
	小学生未満 宿泊 無料 (食事：応相談 就寝時は保護者の寝具でお願いします。)
宿泊定員	50名 (お山開き大祭：6/30～7/9は30名) 6/30・7/1 の両日は、女性のご宿泊はご遠慮ください。

基本的に大部屋にて、ご宿泊いただきます。

※11月1日現在の予定

【お知らせ】

石鎚社報の購読料は年間六回発行
 で、五百円です。購読料未納の方
 は納付をお願いします。

納付年数が不明な方、発送中止が
 希望の方は本社までご連絡下さい。
 先達通信号(五月に送付)は先達
 会符所有者に無料送付させて頂い
 ております。

新規申し込みの方は

石鎚神社 社報係 担当 高橋孝容
 までお問い合わせ下さい。

石 鎚 社 報

〒七九三―八五五五

(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五―四〇四四 本社

五五―七二四二 FAX

五五―四一六八 会館

五五―七二八一 FAX

五九―〇一〇六 成就

五九―〇四〇八 FAX

五三―〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六八―〇一八三六〇

【発行代表者】武智正人

【編集】大岡忠徳

【印刷所】プリ・キユウ・プレス

【購読料】送料共 年五〇〇円

石鎚神社

で

検索